

工程's 新バージョン「工程's11」のリリース、新機能のお知らせ

工程's をサクサク使いこなすための**基本操作**や、知っていると役立つ**ちょっとした小技**をメールマガジン形式でご紹介します。

第27回の今回は工程's 新バージョン『**工程's11**』リリースのお知らせ、及び新機能のご紹介です。

工程's の新バージョン『工程's11』が新たにリリースされました。以下の鹿島建設株式会社専用 HP の「工程's インストラダウンドownload」より、ダウンロードすることが可能です。

<https://kajima-kouteizu.info/webi/>

インストールにつきましては、以下の導入マニュアルをご参照ください

(鹿島建設株式会社 社員ユーザー様)

<https://kajima-kouteizu.info/kouteizu-manual.pdf>

(JV 構成会社 社員ユーザー様)

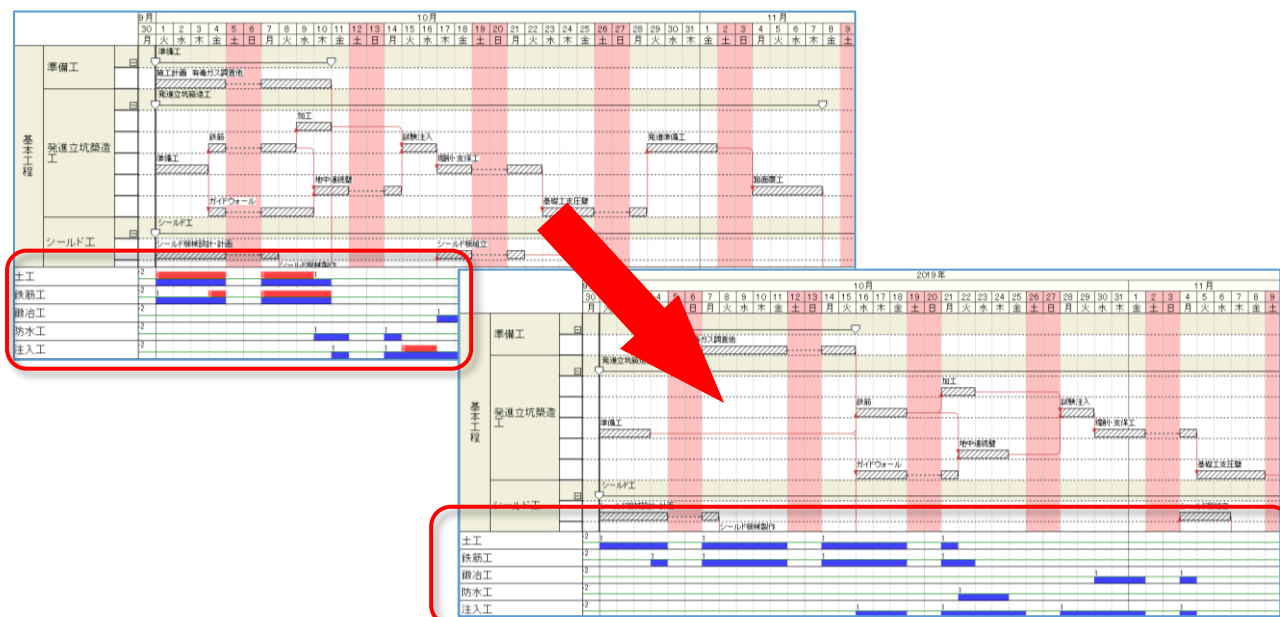
https://kajima-kouteizu.info/jv/kouteizu-manual_jv.pdf

- ※ 工程's11 インストール時、旧バージョンにあたる工程's10 を既にインストールされている場合、自動で工程's10 はアンインストール・削除されます。
- ※ 工程's11 の**ライセンスキー・プロテクトキー**は、工程's10 と異なります。**鹿島建設社員ユーザー様は専用 HP からの再取得、JV 構成会社社員ユーザー様は鹿島建設社員様による工程's 使用の再申請が必要**となります。

追加・強化機能

1. 自動山崩し機能

弊社製品である自動スケジューラ「オシカオラーリオ」の一部機能が標準ツールとして利用できるようになります。



「ツール」メニュー⇒「自動山崩し」にて実行できます。スケジューリング方法は前詰めまたは後ろ詰めから選択でき、作業の前後関係を保ったまま再配置します。実行結果は新しい工程's ファイルとして出力されます。

2. 山積みグラフの値表示

山積みグラフ上に値を表示します。表示する位置は、同じ高さであるグラフの左端です。「編集」メニュー⇒「環境設定」⇒「拡張オプション」タブを開き、「山積みグラフ グラフ値の設定」から設定します。

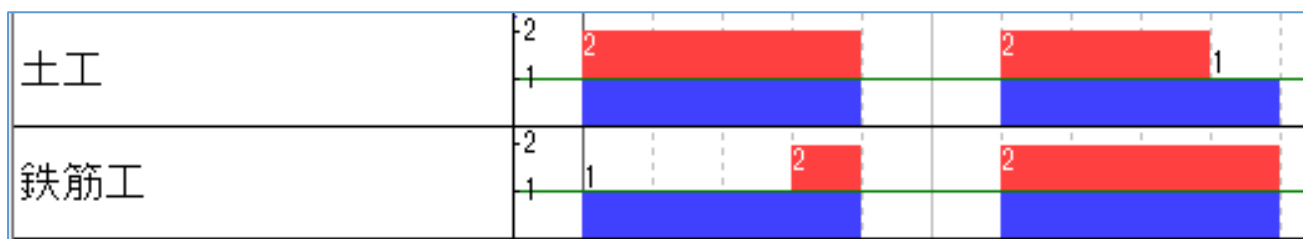
山積みグラフ

目盛り値の設定

☒ 個別自動調整 ☐ 全体自動調整 ☐ 全体固定値設定

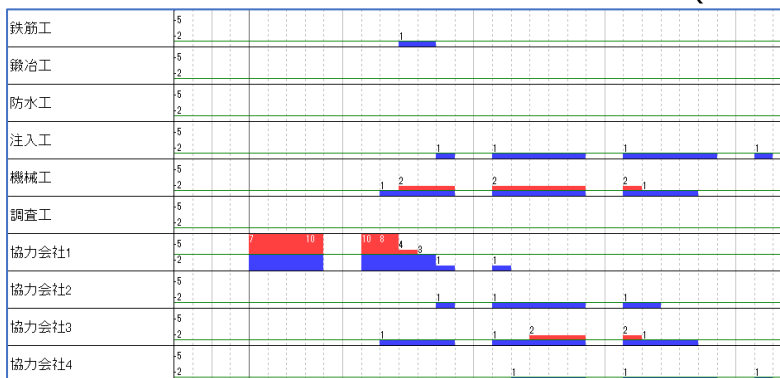
グラフ値の設定

☒ 表示する 小数点以下の桁数



3. 山積みグラフの最大表示数の増加

一度に表示可能な資源数を最大 50 資源に増加しました(図は例として 10 資源を表示したものです)。

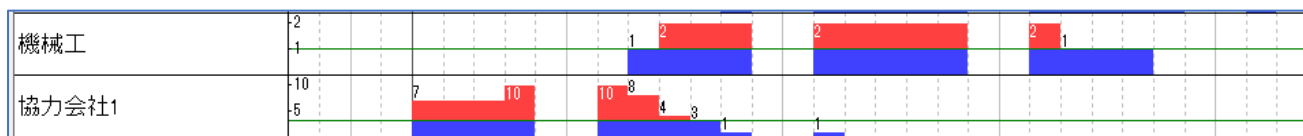


4. 山積みグラフの目盛り値設定

山積みグラフの目盛表示を 3 つの方法から選択できるようになりました。

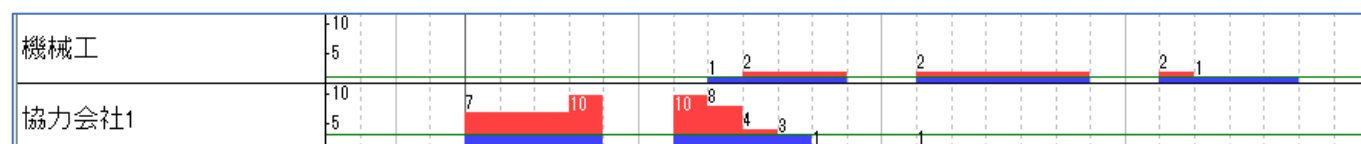
(1) 個別自動調整

従来通りの表示です。資源ごとに最適化された目盛が自動的に表示します。



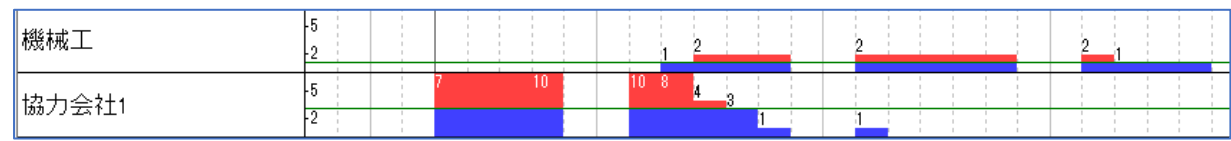
(2) 全体自動調整

全資源を通して最適化された目盛を表示します。



(3) 全体固定値設定

ユーザーが設定した任意の値を最大値として全資源に目盛を表示します。
※枠よりオーバーしたグラフ部分は表示されません。
※本設定ではグラフの表示が崩れる場合がございます。その際は他の 2 つの方法をご利用ください。



5. 印刷縦方向の倍率指定

印刷ウィザードの「オプション」で印刷時の縦方向の表示倍率を設定できるようになりました。固定倍率のパーセント表示により、グループや行の数に関わらず、文字などのサイズ固定ができます。

縦方向の拡大・縮小

☒ 固定倍率

100

▼

%

☐

ペ

収める

見やすさ

☐ 印刷用の色を

☐ バーチャートエ

を隠す
(グループの境界は描画)

25

33

50

75

80

90

100

200

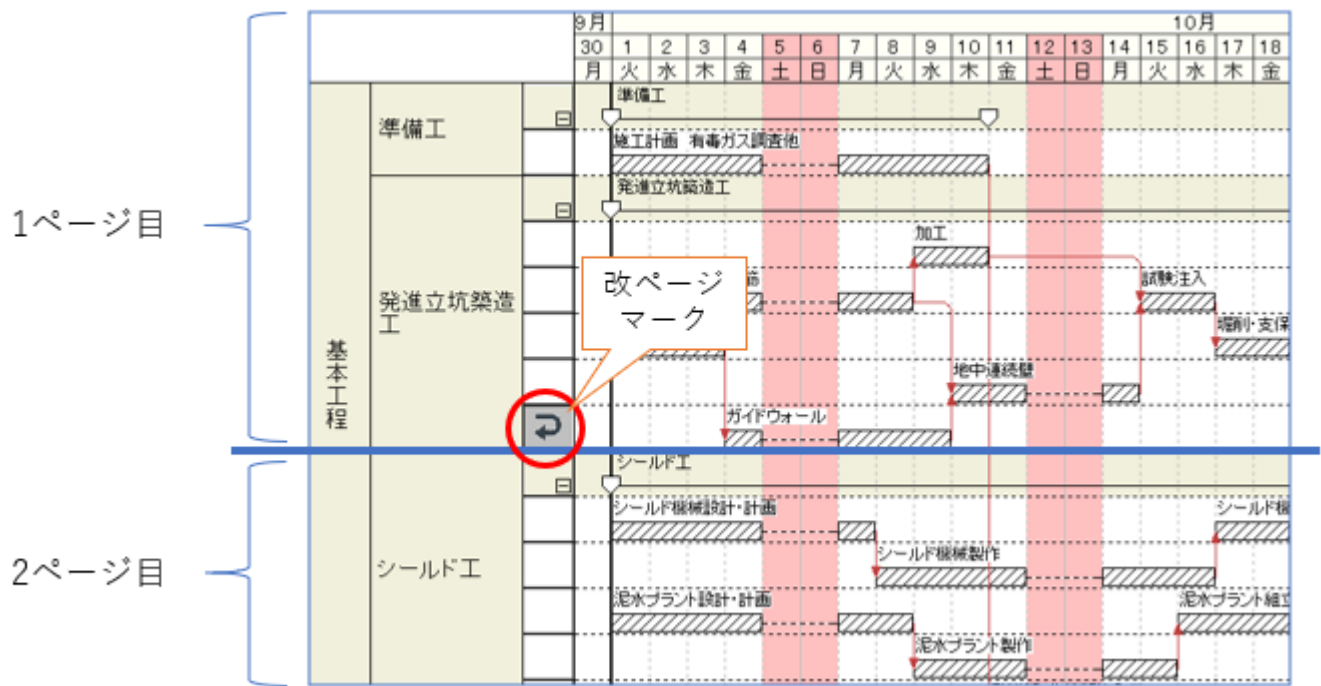
300

400

6. 印刷時の改ページ位置指定

印刷時の改ページ位置を指定できます。グループ名称エリアのグループまたは行を右クリックし「改ページ挿入」から設定を行います。設定すると「改ページマーク」が表示されます。

- ※改ページを指定した印刷を行うときは、印刷ウィザードの「オプション」で「○ページ以内に収める」を選択しないようにしてください。ページ指定機能が優先され、改ページが実行されません。
- ※Planow にアップロードを行った場合、変更した改ページ情報が反映されないことがあります。
- ※旧バージョンの工程's でファイルを開いた場合、改ページ設定が削除されます。

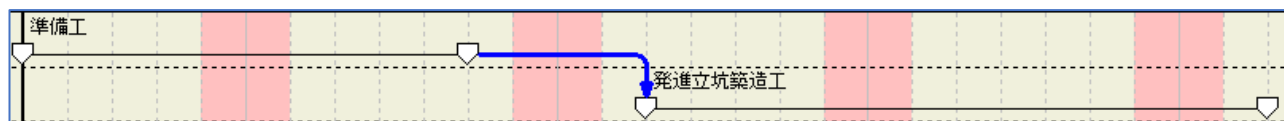


7. グループバー間の前後関係設定

グループバー(大日程・中日程用のバー)に矢印を設定し、前後関係があるように見せることができるようになりました。

※グループバーは、後続移動、日程計算、トータルフロート計算、クリティカルパス表示の対象外です。

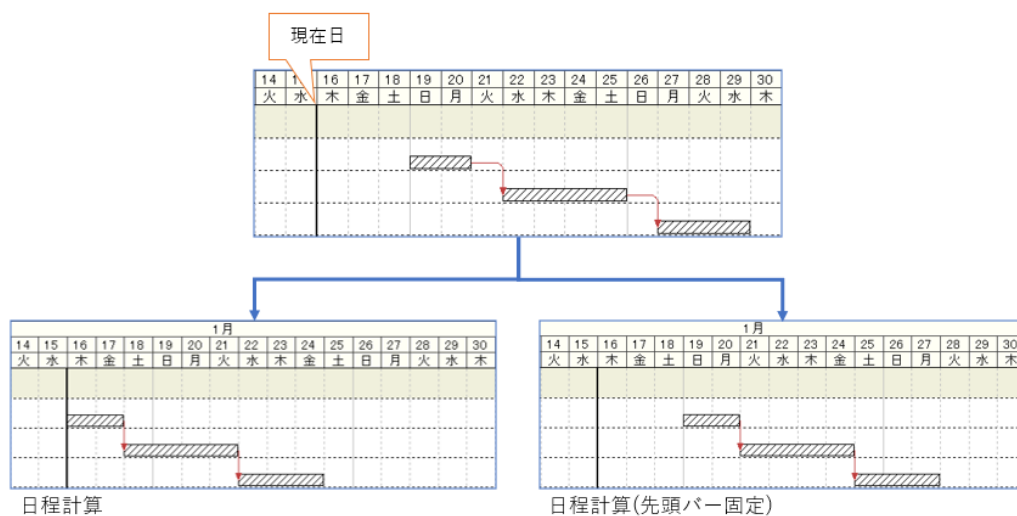
※グループバーと作業バーを、矢印の線で結ぶことはできません。



8. 日程計算時に先頭バーを固定する

「日程計算」メニュー⇒「日程計算(先頭バー固定)」をクリックすると、一連の作業の先頭バーを固定した状態で日程計算を実行し、後続の作業バーのみが再配置されます。後続の作業が存在しない場合も固定扱いとなり、移動しません。

※「日程計算(選択したバーのみ)」の操作が変更されました。工程's11 では日程計算を実行したいバーを選択した後、右クリック⇒「日程計算」または「日程計算(先頭バー固定)」で実行します。



9. Excel バーチャートの週単位・月単位出力

従来の日単位での出力に加え、週単位・月単位での出力も可能になりました。さらに、月単位では最大 30 年間分の工程を出力可能です(日単位・週単位で出力した場合は、従来通り最大 3 年間です)。

Excel バーチャート

ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)

プロジェクト名: 土木工事

期間指定(P): 2017/12/01 から 2017/12/30 まで

表示するライン: ☐ 年/月 ☐ 年/月/週 ☒ 年/月/日

進捗オプション(A): ☐ 2020/01/16 まで進捗がある事にする

実行

1 0 . BarChart Factory の吹き出し形状の変更

BarChart Factory で作成できる吹き出しの形状が変更されました。

※旧バージョンで作成した吹き出しにも適用されます。形状の変更により、再度レイアウト調整を行う必要がある場合がございますので、ご注意ください。



«Tips»

工程's 10 とのファイルの互換性について

工程's 10 で作成した工程's ファイルは、工程's 11 で参照、更新できます。

工程's 11 で作成した工程's ファイルは、工程's 10 で参照、更新できます。

(但し、工程's 10 では工程's 11 の新機能はご利用いただけません。)